

地方における女性のキャリアと地域活性シンポジウム

～女性経営者、女性教員、女性研究者活躍推進に向けて～

平成28年1月22日（金）午後2時～

鶴岡メタボロームキャンパス（鶴岡市先端研究産業支援センター）

東北工業大学と鶴岡工業高等専門学校（以下「鶴岡高専」）は、平成26年「学術協定と地域貢献に関する協定」を締結している。その活動の一環として、平成27年度「地方における女性のキャリアと地域活性の研究」の共同プロジェクトを行っている。

その研究の成果を踏まえ、東北工学教育協会より助成を受けるとともに、鶴岡高専技術振興会が助成を行う研究「中小企業における「中断－再就職型」女性のキャリア形成」（研究者：鶴岡高専 薄葉祐子准教授）の一環として、「地方における女性のキャリアと地域活性シンポジウム～女性経営者、女性教員、女性研究者活躍推進に向けて～」を開催するものである。

東北6県では、少子高齢化が急速に進展している。また、グローバル化、インターネット化に象徴される産業構造変化が起きている。こうした現状のなか、地域経済の疲弊も目立つようになってきている。共同プロジェクトでは、女性の雇用の確保や女性の活躍推進によって、こうした危機を解消する方向づけが出来ないか研究を行ってきた。特に、それなりの人口があるものの県庁所在地でもなく新幹線沿線でもない鶴岡高専の所在する山形県庄内地方について、女性の長期にわたるキャリア形成の中で、地域経済における女性の活躍推進について、産業活性化の一助とすべく検討を行ってきた。

一方で、東北工業大学、鶴岡高専は、多くの女性技術者、女性研究者を輩出してきているが、東北においては、そもそもリーダーとして活躍しようとする女性の数が少ない、あるいは、リーダーとして期待されても、結婚、出産、あるいは、育児のため、活躍期間が中断され、思うような成果が挙げられていないという現実もある。

本シンポジウムでは、株式会社エムスクエア・ラボ 代表取締役 加藤百合子氏より「女性の強みを生かした起業と企業経営」として基調講演を行っていただき、その基調講演を基にパネルディスカッションにて、女性のますますの活躍推進により地域活性化のための新しいしくみづくりについて、現状を把握し、今後の活動について議論を深めていくものである。

エムスクエア・ラボは独自の解析技術と新たなビジネス創造により、農工問わず『ものづくり』競争力を強化することで、より良い社会づくりへの貢献を目指している会社であり、加藤氏は、経済財政諮問会議「選択する未来」専門委員などを歴任している。

なお、今回の講演者等は、すべて女性であり、各分野のリーダーとして活躍されてきた方ばかりである。これまでのご経験やこれからの女性のキャリアの方向性について、忌憚ないご意見を拝聴できることを申し添えさせていただきたい。

多くの方に参加していただけることを期待しております。

平成28年1月吉日

独立行政法人国立高等専門学校機構鶴岡工業高等専門学校

東北工業大学 渡部順一研究室

【会場案内】

鶴岡メタボロームキャンパス（鶴岡市先端研究産業支援センター）

山形県鶴岡市覚岸寺字水上246番地2